

(太字表記は必修科目)

>

学科のカリキュラム・ポリシー〔教育課程編成・実施の方針〕

- 幅広い教養と倫理観を養い、医療人として、また社会人としての人間性を育む
- 柔道整復とスポーツ医・科学に関する基礎的及び専門的な知識と技術、実践力を育む
- 柔道整復とスポーツ医・科学に関する知識と技術、実践力をもとに課題を探究し解決できる能力を育む
- 臨床実習における人との関わりを通じ、社会のヘルスプロモーションも貢献するという自覚を育む

学びのステップ	1年次の学び		2年次の学び		3年次の学び		4年次の学び		
	総合教育科目では、保健や医療に従事する者として必要な幅広い教養と倫理観を育む科目を学びます。専門教育科目では、人体の構造や機能、基礎運動学などの科目を通して柔道整復術の施術や健康運動指導の際に必要な、からだの正常な仕組みや働き・動きについて学びます。さらに、柔道整復術の基礎となる総論と包帯学という基本的技術の学びも始まります。		病因・病態学などの基礎医学系科目や、内科診断学、整形外科学などの臨床医学系科目を通して、疾病と障害の成り立ちについて学びます。また、整復学、整復学実技などの科目を通して、柔道整復術の基礎となる知識や技術についての学びが進みます。さらに、健康運動実習など、スポーツやフィットネスに関する実技科目を学びます。		整復学や整復学実技で柔道整復術の基礎となる知識や技術を学びつつ、整復評価学や整復治療学IVでは、基礎から臨床に役立つ内容へと学びが進みます。また、リスクマネジメント論などの科目を通して知識の幅を広げるとともに、整復臨床実習 I では附属接骨院での臨床実習が始まります。さらに、健康づくり概論、応急処置実習といった、健康運動指導などに関する高度な知識と技術を学びます。		整復臨床実習 II では附属接骨院で臨床実習を行い、柔道整復や健康運動指導に関する知識や技術を、より実践的なものとします。また、臨床整復学では実際の臨床現場での経験から得た症例を学び、患者さんのQOLに合わせた柔軟な対応や工夫が出来る実践力を育みます。さらに、アロマセラピー、マイオケアなど臨床現場で応用できる科目を多数開講しています。		
科目ナンバリング	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	
総合教育科目	1000	02 大学入門セミナー							
	1100	01 科学の基礎 05 統計学の基礎 07 情報科学 I	02 生命のしくみ 03 物質と自然のしくみ 04 生命の化学 08 情報科学 II						
	1200	01 生命倫理 03 心理学 07 生涯スポーツ I 09 スポーツと健康	08 生涯スポーツ II	02 日本国憲法(法の基礎知識) 04 社会学 06 教育学	05 社会福祉論				
	1300	01 国語表現法 02 英語表現法 I 08 コミュニケーション学	08 英語表現法 II	04 英語表現法 III 06 中国語 I	05 英語表現法 IV 07 中国語 II		10 医療英語		
専門教育科目	2000	01 人体の構造 I 03 人体の構造演習 04 人体の機能 I	02 人体の構造 II 03 人体の構造演習 05 人体の機能 II 06 人体の機能演習 07 基礎運動学		08 運動生理学	09 応用生理学			
	2100			01 病因・病態学 I 03 内科診断学 05 外科各論	02 病因・病態学 II 04 内科各論 05 外科各論 06 整形外科学		07 リハビリテーション論 I	08 リハビリテーション論 II	
	2200					01 柔道実技	01 柔道実技 02 衛生・公衆衛生学 I	03 衛生・公衆衛生学 II 04 療養費と法の基礎 05 柔道整復関係法規 06 保健医療福祉概論	
	2300	01 医学概論		02 子どもの発達と健康	08 高齢者ケア論	04 健康管理学 05 応急処置実習	06 リスクマネジメント論 07 動作分析学 08 キャリア形成セミナー	09 統合医療(代替医療) 10 神経科学	11 医療経営学
	2400	01 臨床心理学概論 02 アスレティックトレーナー概論 03 スポーツコーチング論 29 トレーナー現場実習 I	04 スポーツトレーニング論 I 20 JSPQ-ATの役割 29 トレーナー現場実習 I	05 スポーツトレーニング論 II 06 健康運動実習 I 07 健康運動実習 II 21 トレーニング科学 30 トレーナー現場実習 II	22 バイオメカニクス 23 コンディショニング I 25 リコンディショニング I 27 スポーツ外傷・障害の予防 30 トレーナー現場実習 II	08 食品栄養学 09 健康づくり概論 10 フィットネス実習 I 12 太極拳 24 コンディショニング II 26 リコンディショニング II 28 救急対応 31 トレーナー現場実習 III	13 スポーツ社会学 31 トレーナー現場実習 III	11 フィットネス実習 II 14 健康スポーツ理論 15 アロマセラピー 16 マイオケア(トリガー理論) 17 リフレクソロジー 18 ヨーガ	19 スポーツ理学療法特論
	3000		01 整復学総論	02 整復学各論 I (頭部・胸部・上肢部) 03 整復学各論 II (脊柱・上肢近位部)		04 整復学各論 III (上肢遠位部) 05 整復学各論 IV (骨盤・下肢近位部) 06 整復学各論 V (下肢遠位部) 07 整復学各論 VI (軟部組織) 08 整復評価学	09 画像診断学	10 臨床整復学	10 臨床整復学
	3100		01 包帯学 I 13 整復治療学 I (テーピング実技)	02 包帯学 II 03 整復学実技 I A (頭部・胸部・上肢部) 05 整復学実技 II A (脊柱・上肢近位部) 14 整復治療学 II (徒手療法基本実技)	04 整復学実技 I B (頭部・胸部・上肢部) 06 整復学実技 II B (脊柱・上肢近位部) 15 整復治療学 III (徒手療法応用実技)	07 整復学実技 III A (上肢遠位部) 11 整復学実技 VIA (軟部組織)	08 整復学実技 III B (上肢遠位部) 09 整復学実技 IV (骨盤・下肢近位部) 10 整復学実技 V (下肢遠位部) 12 整復学実技 VIB (軟部組織) 16 整復治療学 IV (後療法総合)		
	4000							01 整復総合演習 I 03 柔道整復総合ゼミ	02 整復総合演習 II 03 柔道整復総合ゼミ
	4100					01 整復臨床実習 I	01 整復臨床実習 I	02 整復臨床実習 II	02 整復臨床実習 II

《科目ナンバリングの表記》
 総合教育科目 GE-〇〇△△
 専門教育科目 J□-〇〇△△
 J (ヘルスプロモーション整復学科)
 □ (科目配当学年)
 〇〇 (科目区分)
 △△ (科目ナンバー)

科目区分 (総合教育科目)	ナンバリング
大学入門セミナー	1000
科学的思考の基盤	1100
人間と生活	1200
言語とコミュニケーション	1300

科目区分 (専門教育科目)	ナンバリング
人体の構造と機能	2000
疾病と障害	2100
保健医療福祉と柔道整復の理念	2200
医療複合	2300
健康・スポーツ科学	2400
基礎・臨床整復学	3000, 4000
整復実技	3100, 4100

授与される学位	学士 (保健医療学)
---------	------------

取得できる資格	柔道整復師国家試験受験資格 アスレティックトレーナー (AT) 受験資格 ((公財) 日本スポーツ協会) スポーツプログラマー受験資格 ((公財) 日本スポーツ協会) スポーツコーチングリーダー受験資格 ((公財) 日本スポーツ協会) 【3年修了時】 健康運動実践指導者受験資格 ((公財) 健康・体力づくり事業財団) 【3年修了時】 トレーニング指導者受験資格 ((NPO法人) 日本トレーニング指導者協会) 【3年修了時】 スポーツアロマトレーナー受験資格 ((NPO法人) 日本スポーツアロマトレーナー協会) 【2年もしくは3年次の講習受講後】 社会福祉主事任用資格
---------	---